

発行所 田辺三菱製薬株式会社 大阪市中央区北浜2-1-6 18

新ワクチン

Vaccine News

平成26年 夏号

監修:川崎医科大学小児科学教授 中野 貴司 先生

平成26年夏号のトピックス

- みずぼうそうの予防接種はお済みですか?
- 予防が大切、日本脳炎
- 生後3か月からの4種混合ワクチン

みずぼうそうの

予防接種はお済みですか?

みずぼうそう(水痘)は、子どもの病気の中で身近なもののひとつです。

みずぼうそうにかかると、小さな平らで赤いブツブツ(発疹)があらわれます。はじめは虫刺されやあせもに似ているため診断が難しいこともあります。みずぼうそうでは数時間でぶくろんで水ぶくれ(水疱)状になり、体中にバラバラと広がり始めます。

1週間から10日程度でかさぶたとなって治りますが、すべてのかさぶたがはがれ落ちるまで、約3週間かかります。水ぶくれの周囲の赤みが消えて、黒いかさぶたがしっかりとできるまでは、周りに感染させてしまうおそれがあるため、登園・登校はできません。

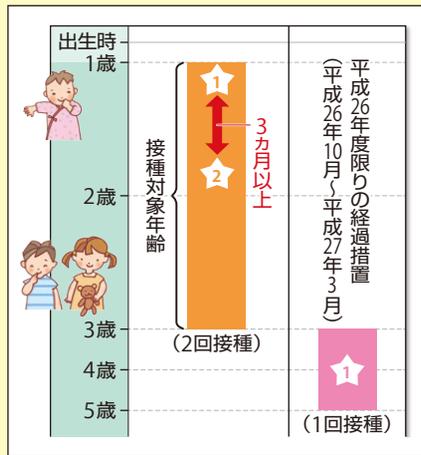
みずぼうそうはワクチンで予防できる感染症です。これまでは、接種を希望する人が任意で水痘ワクチンの接種を受けていましたが、平成26年10月から定期接種として受けることができるようになります。接種対象者は主に1歳以上3歳未満です。また、しっかりと免疫をつけるために3か月以上の間隔で3歳までに2回接種します。

かかるまえにできること

体調の良い日を選んで、忘れずに2回接種を受けるようにしましょう。また水痘ワクチンは、他のワクチンとの同時接種も可能です。

※みずぼうそうは感染力が強い病気のため、10月まで待たずに1歳を迎えたらすぐに1回目の予防接種を受けることをお勧めします。

水痘定期予防接種スケジュール (平成26年10月より)



かかる前にできること、それは…

予防できる病気には予防接種を!

予防が大切、日本脳炎

日本脳炎は、主にコガタアカイエカ(蚊)によって媒介される日本脳炎ウイルスによる感染症です。アジアで広く流行している病気で、毎年3万5千～5万人が発症しており、1万～1万5千人が死亡していると推定されています。

日本脳炎は感染しても症状が出ない(不顕性感染)ケースがほとんどですが、発症した場合は致死率が高く、特に幼児や高齢者の死亡率が高いといわれ、深刻な後遺症を残すこともあります。

日本では昭和50年代～平成3年までは報告患者が50人を超える年もありました。平成4年以降の報告患者は年間10人未満で平成16年からの10年間で36人の発症が報告されています。このうち、子どもでは平成18年以降6人が発症しています。

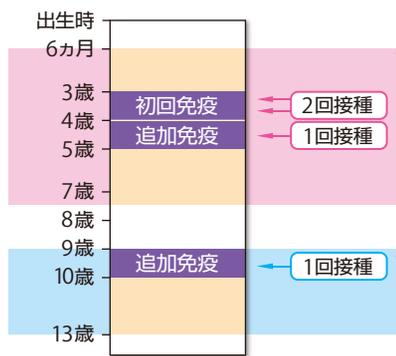
日本脳炎に特異的な治療法はなく、ワクチンによる予防が最も大切です。日本脳炎の場合、しっかりと免疫

を付けるために、標準的には3歳で2回、4歳で1回の計3回の予防接種を受けることが大切です。最近公表された調査結果では、1期(基礎免疫)の3回すべての接種を受けた人は3分の2(67%)しかいませんでした。母子手帳を確認して接種が完了していないお子さんは、蚊の活動が活発になる前に接種を受けることをお勧めします。

日本脳炎定期予防接種スケジュール

日本脳炎の予防接種は、下記の時期に定期接種が定められています。

- 生後6か月から90か月未満の1期に計3回
- 9歳以上13歳未満の2期に1回



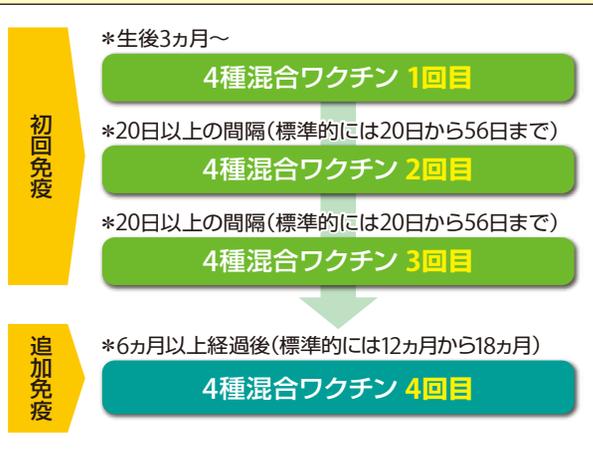
生後3か月からの4種混合ワクチン

4種混合ワクチンは、百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオの4つの病気を予防するワクチンで、定期接種として生後3か月から接種を受けることができます。

初回免疫として、20日以上(標準的には20日から56日)の間隔で3回接種し、6か月以上経過後(標準的には

12か月から18か月に4回目を接種します(追加免疫)。体調の良い日を選んで、早めに接種を受けましょう。

百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ 4種混合ワクチンの定期予防接種スケジュール



【主な感染症がはやる季節】

月	春			夏			秋			冬			春			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
麻しん	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
風しん																
みずぼうそう																
おたふくかぜ																
インフルエンザ																
感染性胃腸炎(ロタ)																
感染性胃腸炎(ノロ)																
ヘルパンギーナ																
手足口病																
咽頭結膜熱(プール熱)																
溶連菌感染症																
突発性発しん																

一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。

■: ピーク時 ■: 通年

手足口病、咽頭結膜熱の季節です。